

テレワーク・デイ実施風景

テレワーク・デイ実践事例集 (H29)



←共用のサテライトオフィスにて勤務している様子

所在地 (市区町村)	東京都千代田区
従業員人数	5000～9999人
実施人数	110人
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅、実家 ・ 共用のサテライトオフィス (会社が指定したコワーキングスペース) ・ 訪問先、出張先 ・ その他、従業員が任意で選択した場所 (喫茶店等)
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> □ 当社は2016年より、企業競争力の強化を目的に、独自の「働き方改革」を進めている。 □ 今般、その一環として、テレワーク・デイを含む一定期間に当社としてどのような働く場所・時間の選択肢を用意することが会社/社員の戦闘力をあげるかについて実証実験 (MBKテレワーク) を行っている。具体的な条件等は以下の通り。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 人数：約600人 2. 期間：7/24～9/22 3. 内容：上記の実施場所が対象となるが、とりわけ、自宅及び共用サテライトオフィスで終日勤務する場合の効果に注目している。

実施結果

○テレワーク・デイ当日の公共交通機関の利用

最寄り駅への乗り入れ路線において、10：30迄に乗車しなかった人数は**計18名**。

○テレワーク・デイ当日の購買行動の変化

テレワークにより、普段とは異なる購買行動を行った人数は**7名**。
その内訳は以下の通り。

- ・ 消費が増えた人数：4人 増加総額4000円
- ・ 消費が減った人数：3人 減少総額2510円

○その他

- 当社は、2016年より「働き方改革」を本格的に推進しており、全社員を対象にした「働き方に関する社員意識調査」を年1回開催し、同調査の結果を核に、①各組織において様々な改善活動を展開するとともに、②全社においては、働く場所・時間に関する新しいルールを検討・導入し、それらを両輪として改革を進めてきた。
- 上記②のうち、昨年6月に導入した「**モバイルワーク**」は、オフィス外にPCを持ち出し、就業時間外に自宅等で仕事をすることや、客先訪問の合間等にカフェ等で仕事をするなど等を可能にしたもので、上記調査によれば、利用者の約67%が「生産性が上がった」との実感を得ている。
- 今般、テレワーク・デイを含む一定期間に実証実験を行っている「**MBKテレワーク** (条件は左記の【実施概要】参照)」は、その「モバイルワーク」の仕組みを拡張させたものであり、あらたに終日の在宅勤務や首都圏・主要都市の随所にあるサテライトオフィスでの勤務を可能とした(本年6月に導入した「**個人単位の時差出勤制度**」との併用も可能)。
- 本実証実験は現在も実施中であり、その効果は当該期間終了後に多角的に検証する予定。